



## おむすび倶楽部友の会 活動再開の考え方

2020年6月22日作成

おむすび倶楽部友の会

新型コロナウイルスの感染防止により2月末より活動休止していた「おむすび倶楽部友の会」を再開するにあたり、引き続き感染防止に十分な注意を払うことが求められています。新たな活動様式や具体的な運営方法について運営委員間で情報共有を図るためこの考え方・手順をまとめることにしました。

### 0. 基本的な考え方

- (1) 「おむすびハウス」開設の基本に立ち返り、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の方、外出の機会の少ない方などに、地域の居場所を提供すること。
- (2) 東京都の緩和ステップ、東京アラートの解除などを見据えながら、「新しい日常」に沿った運営であること。
- (3) 三鷹市の公共施設等の再開基準に沿って、段階的に再開すること。
- (4) 今後とも長期的な感染予防対策を講じる必要があることから、三密を回避しながら、新しい活動の在り方にチャレンジすること。
- (5) 参加者の協力が不可欠で、手順が守れない場合にはお断りすること。
- (6) 将来新型コロナウイルス感染の第2波等が発生した場合には、再度休止がありうることを。

こうした基本的な考え方にしたがって、以下の具体的な手順に従って運営したいと考えます。

### 1. 活動の仕方

- (1) 活動頻度
  - ① 7月より週1回程度の活動とし、段階的に活動内容や回数を変更していきます。
  - ② 運営委員会を月1回程度開催し、活動状況を確認して手順を改善していきます。
- (2) 活動時間
  - ① 当面、午後1時30分~午後3時30分（プログラムは1時間程度、前後の準備と片付けに十分な時間をとります）とします。
  - ② ただし、段階的に変更できるものとします。
- (3) 活動人数
  - ① 2mのソーシャルディスタンスを確保するには、運営委員、ボランティアスタッフ、一般参加者を合わせて、11名以内とします。  
（例えば、運営委員とボランティアスタッフ:3~4名、一般参加者:7~8名）  
同様に、2階を使用する場合は、全員で8名以内とします。
  - ② 運営委員は、できるだけ接触回数を減らすように交代頻度を多くします。
- (4) 活動内容と方法
  - ① 対面型を避け、マスク着用を前提とした新しい活動、例えばカルチャー的にするなど、工夫をします。
  - ② 新しい活動には新しい様式にふさわしい名称をつけることが望ましいと考えます。
    - 1) 新おむすびストレッチ、新おむすび脳トレ（クロスワードパズルなど）

- 2) 脳トレ麻雀クイズ学習会（麻雀クイズ解説講座）
- 3) フラワーデザイン塾（フラワーデザイン）
- 4) zoom 講習会（高齢者のための zoom 操作方法）
- 5) リモートおむすび寄席（動画のライブ発信やオンライン寄席）

## 2. 運営委員及びボランティアスタッフの役割

- (1) 運営委員は、各プログラムを交代で担当し、当日の出席運営委員を予め決めます。
- (2) パソコン、プロジェクターとスクリーンを積極的に活用します。
- (3) 飲み物、菓子等の提供はしません（持参した飲み物で水分補給は可能です）。
- (4) こまめな換気（30分に1回5分程度）行ないます。
- (5) 運営委員及びボランティアスタッフは、準備と片付け、消毒、清掃など感染予防を行います。

### 準備作業：

- ①スタッフ自ら、手洗いと消毒、体温チェックを行ないます。
- ②窓を開けます。
- ③机、椅子の配置と消毒を行ないます。
- ④ドアノブ、スイッチ等消毒を行ないます。
- ⑤扇風機を回して、室内の空気を屋外にだして空気の入替をします。
- ⑥参加者の検温（非接触用体温計）、手洗い後の消毒への誘導を行ないます。
- ⑦水分補給に注意をうながします（10～20分に2口程度）。
- ⑧プログラム終了後、机、椅子の消毒、トイレ清掃、床等（除菌シート）モップで清掃を行ないます。

## 3. 参加者への周知事項

- (1) プログラム参加者への呼びかけは、再開準備にむけた試行期間であることを伝え、従来からの参加者のうち希望者だけに連絡します。
- (2) 参加者は、予め設定した人数内で事前に各プログラムの申込みを受ける予約制とします。定員を超えた場合はお断りします。予約なしで当日来られた方もお断りします。
- (3) 参加者に、自宅で検温を済ませ平熱で、体調不良の症状がなく、マスク着用の上、ハンカチを持参することが参加の条件であること伝えます
- (4) 参加者に、飲み物（熱中症対策）と上履きを持参することを伝えます。
- (5) 参加者に、光熱水費・感染予防対策費の一部として200円を自己負担していただくことを伝えます（材料費や講師謝礼費用以外に）。
- (6) 活動中は、手洗いの徹底、マスクの着用、ソーシャルディスタンス（距離を保とう）、三密をさける、会話を控える、を心掛けていただくこと。
- (7) なお、周知事項が守られない場合には、参加のお断りをすることを伝えます。

## 4. 参加者への当日の対応

- (1) 玄関入り口での体温測定（非接触型体温計）を行ないます。
- (2) 玄関入り口の洗面所で手洗いの徹底、消毒の励行を促します。
- (3) 参加者名簿に、名前、住所、電話番号と自宅で検温した体温、体調をスタッフが記入します。

(もしも感染者が確認された場合、保健所と参加者周知のため必ず記載します)

(4) 参加者相互の距離を保ちます(ソーシャルディスタンス)。

(5) 机、椅子の配置を工夫して、対面型を避けるようにします。

(6) 会話を控えてもらいます。

#### 5. 備品及び消耗品等の準備

- ① 体温測定器(非接触型)
- ② 扇風機(室内空気換気用)
- ③ ハンドソープ(手洗い用)
- ④ アルコール消毒液(手、指消毒)
- ⑤ ペーパータオル(洗面所用)
- ⑥ 除菌スプレー(机、椅子、器材等)
- ⑦ アルコール除菌シート(机、椅子、器材等)
- ⑧ ウエットティッシュ(フローリング用)
- ⑨ フェイスシールド(スタッフ用)
- ⑩ マスク(忘れた方用)
- ⑪ 飲み物ペットボトル(忘れた方用)

以上



## 「おむすびハウス」再開の運営チェックシート

プログラム名： \_\_\_\_\_

2020年 月 日 ( ) 運営委員担当(記入者) 氏名 \_\_\_\_\_

運営委員(氏名)： \_\_\_\_\_ ボランティア(氏名)： \_\_\_\_\_

(当日の担当者は、□にレ点を入れ点検確認を行ない、ファイルに保管する)

### 0. 事前の準備

事前に参加者へ注意事項を周知する	
当日出席可能な運営委員、ボランティア担当者を確認する	
1. 運営委員、講師やボランティアが自ら行うこと	
マスク着用、フェイスシールドの着用する(必要があれば)	
手洗いと消毒、体温チェックを行う	
水分補給の飲み物(水、麦茶、ほうじ茶等)を持参する	
2. 会場の準備と清掃	
窓を開けて扇風機で室内空気を屋外へ排出を行う	
机、椅子の配置を工夫する(ソーシャルディスタンス、対面をさける)	
机、椅子の消毒を行う(アルコール、布雑巾)	
入り口ドアノブ、スイッチ等の消毒を行う	
トイレ、洗面所のドアノブ、スイッチ等の消毒を行う	
3. 参加者持ち物(事前に周知する)	
スリッパもしくは上履きを持参すること	
マスクの着用、ハンカチ、水分補給用飲物、参加費(200円)を持参すること	
飲み物、菓子等の提供はしないこと	
お互いに飲み物やお菓子のやりとりしない	
4. 受付時	
体調不良でないか確認する	
参加者の体温測定(非接触用体温計)を行う(37.5度以上の発熱等は来館自粛)	
参加者は洗面所で手洗いと手の消毒を行う	
名前、住所、電話番号、自宅で検温したこと、体調を参加者名簿にスタッフが記入する (万一感染者が確認された場合、保健所と参加者周知のため必ず記載する)	
飲食の禁止(水分補給は可)無い方は、有料(100円)で提供する	
マスクを持っていない場合は、有料(50円)で提供する	
手荷物は、自分の椅子の下に置き、荷物同士が接触しないようにする	
5. プログラム開催中	
こまめな水分補給(10分から20分に2口程度)の機会を作り、促す	
こまめな換気(30分に1回、5分程度、もしくは窓や扉を開放)を行う	
参加者同士の距離の確保をとる(ソーシャルディスタンス確保、対面を避ける)	
参加者の様子を観察する(気分がすぐれない人がいないか)	
6. プログラム終了後	
机、椅子、ドアノブ、スイッチ等の消毒を行う	
トイレ清掃、床等掃除機清掃後(除菌シート)モップで清掃を行う	
参加費を封筒に入れ、利用報告書を記入し下駄箱のうへの缶に入れる	

以上



2020年6月22日作成

おむすび倶楽部友の会

## 「おむすびハウス」再開にあたって 皆様へのお願い

新型コロナウイルスの感染防止により2月末より活動休止していた「おむすび倶楽部友の会」を再開するにあたり、引き続き感染防止に十分な注意を払うことが求められています。新たな活動様式や具体的な運営方法について、参加者の方々にご理解とご協力していただきたいことがあります。

### 1. 基本的な考え方

- (1) 「おむすびハウス」開設の基本に立ち返り、一人暮らしの高齢者や高齢者世帯の方、外出の機会の少ない方などに、地域の居場所を提供したいと考えています。
- (2) 東京都の緩和ステップ、東京アラートの解除などを見据えながら、「新しい日常」に沿った運営を行います。
- (3) 三鷹市の公共施設等の再開基準に沿って、段階的に再開することとします。
- (4) 今後とも長期的な感染予防対策を講じる必要があることから、三密を回避しながら、新しい活動の在り方にチャレンジすることとします。
- (5) 将来新型コロナウイルス感染の第2波等が発生した場合には、再度休止があります。

こうした基本的な考え方にしたがって、つぎのようなお願い事があります。

### 2. 参加者の皆さんへのお願い事項

- プログラム参加への呼びかけは、再開準備にむけた試行期間であることから、希望者だけにご連絡します。決して参加を強制するものではありません。
- 予め設定した人数内で事前に各プログラムの申込みを受ける予約制とします。定員を超えた場合はお断りします。予約なしで当日来られた方もお断りします。
- 自宅で検温を済ませ、平熱で体調不良の症状がなく、マスク着用の上、ハンカチを持参することが参加の条件です。
- 飲み物（熱中症対策）と上履きを持参してください。
- 光熱水費・感染予防対策費として200円を自己負担していただきます。
- 活動中は、手洗いの徹底、マスクの着用、ソーシャルディスタンス（距離を保とう）、三密をさける、会話を控える、を心掛けてください。
- なお、お願い事項が守られない場合には、参加のお断りをする場合があります。

皆様が健康で安全に活動できるような「新しい活動」考えております。もしご不明な点がございましたら、各運営委員までお問い合わせください。

以上